

2026 年 3 月 9 日
法政大学入学センター

2026 年度 法政大学
デザイン工学部 A 方式 I 日程・理工学部 A 方式 I 日程・生命科学部 A 方式 I 日程
入学試験に関するお知らせ

2 月 11 日に実施した入学試験において、下記の試験科目の問題に不備があることが判明しました。

再採点を行った結果、新たに 4 名の方々が合格となりましたことをお知らせいたします。

今回の誤りにより合格となられた方々、当日受験された受験生および関係者の皆様には、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、新たに合格となった方々には、すでにご連絡し、事情のご説明とお詫び、今後の対応についてご説明をさせていただいております。

今回の事態を重く受けとめ、今後の再発防止に努めてまいります。

記

1. 試験日 2026 年 2 月 11 日（水）
2. 試験科目 化学
3. 新たに合格となる受験生 4 名
4. 内容
問題冊子 16 ページ 大問〔Ⅲ〕【実験 B】 7

大問〔Ⅲ〕は、複数の金属イオンが含まれる水溶液から、条件を変えながら順番に金属イオンを沈殿させる実験操作を主題とした問題である。リード文「5 種の金属イオン(K^+ , Ca^{2+} , Cd^{2+} , Mn^{2+} , Fe^{3+})を含む混合水溶液から・・・」に対し、設問 7「操作(i)および(ii)において、沈殿を生じる金属イオンを化学式でそれぞれ記せ。」では、リード文で与えられた金属イオンから Fe^{3+} を選択することを想定していた。しかし、実験操作の過程において、 $Fe^{3+} \rightarrow Fe^{2+}$ の変化が起きているため、実際に沈殿を生じる金属イオンである Fe^{2+} を別解とすることにした。

<対応>

「 Fe^{2+} 」を別解として正解とし、再採点と得点調整（標準化）を行いました。

以 上